

敦賀市立松陵中学校 保護者の皆様へ

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の対策

【国語】

【正答率が良好であった設問】文章の全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示の関係を捉えることができるかどうかをみる問題

【問題】本文中に示されている二つの役割をまとめた文の空欄に入る言葉として適切なものをそれぞれ選択するく読むこと

【課題が見られる設問】

【問題】

Bの短歌で用いられている表現の技法の説明として最も適切なものを、次の中から一つ選びなさい。

- 1「風さやか」の部分に、擬人法が用いられている。
- 2「庭に月待つ」の部分に、直喩が用いられている。
- 3「萩すすき」の部分に、倒置が用いられている。
- 4「蝸の声やみし夕暮れ」の部分に、体言止めが用いられている。

【課題】

比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うこと。

【対策】

様々な作品から、既習の表現技法を探したり、表現の効果について考えたりする活動を増やしていく。

【数学】

【正答率が良好であった設問】

◎数学的な知識・技能

- ・ $6x+2y=1$ について、 y について解く問題
- ・等式を目的に応じて変形する問題

【課題】

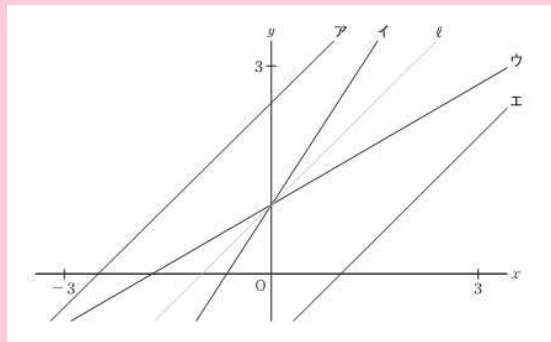
△数学的な思考・判断・表現
一次関数について、式とグラフの特徴を関連づけて理解すること。

【対策】

式の傾き・切片が変わることで、グラフがどのように変化するかについてデジタル教材を活用して理解を深める。また、一次関数の式とグラフを関連づけて整理する場面を設けるようにする。

【問題】

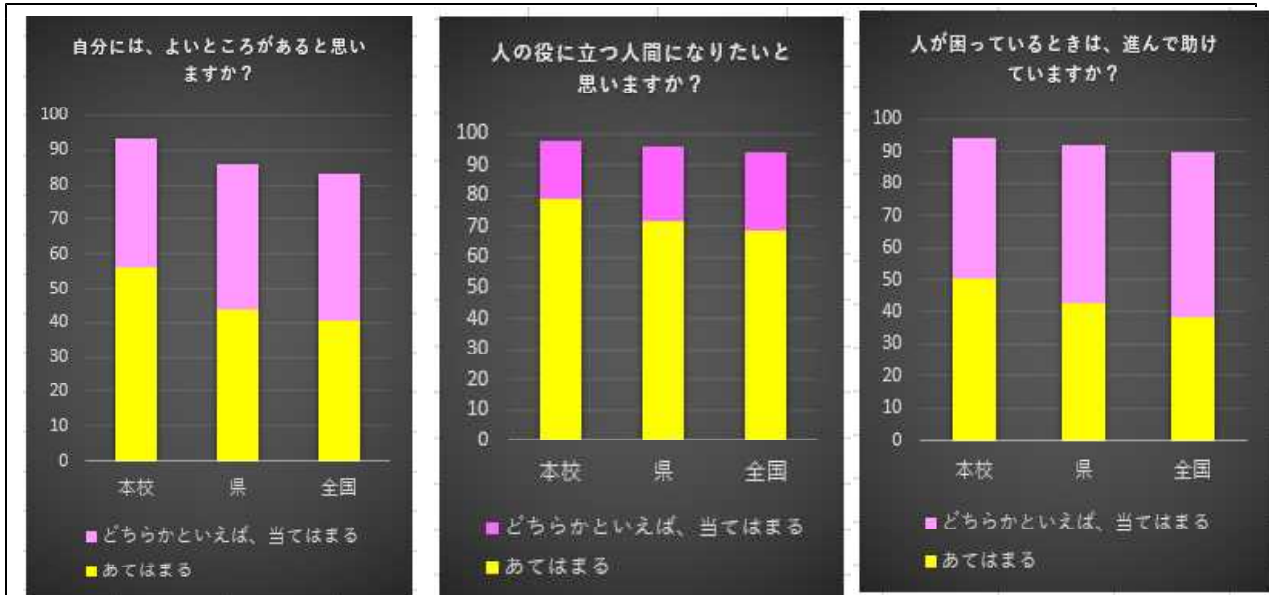
一次関数 $y = ax + b$ のグラフについて考えます。
下の図の直線 l は $a = 1$ 、 $b = 1$ のときのグラフです。
直線 l に対して、 $b = 1$ を変えずに a の値を1より大きくしたときのグラフが、直線アからエまでの中にあります。それを1つ選びなさい。



【質問紙調査の結果】

全69項目中、県平均を基準とした本校の良い点と気がかりな点について

○ 良い点



本校の生徒は自己肯定感が高く、人が困っているときは進んで助け、家庭や学校生活の中で人の役に立つ人間になろうとしていることが伺える。毎週（今年度は隔週）時間割の中に位置づけて実践している「STタイム」により、友だちの考えを認め合ったり、「縦割りグランプリ」と称して、上級生が下級生とともに力を合わせて学校行事に取り組んできた成果が、このような数字となって現れていると考えられる。今後も本校独自の実践を継続し、学校教育目標である「夢の実現に向け 志を立て 自らの力で未来を切り拓く生徒の育成」を具現化していきたい。

○ 気がかりな点

【課題】

将来の夢や目標を持っている生徒の割合が、県平均や全国平均に比べ若干高いが、90%以上が数値目標。

【対策】

- ・ 卒業生や地域の人材を活用し、20年後を生き抜くキャリア教育の充実を図り、将来の展望を持たせていく。
- ・ 読書を含む、様々な人との出会いを推進し、自分の生き方を考えさせていく。

